

# 2020年9月18日 第3336回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 岡田 会長

<斉 唱> 「それこそロータリー」

<ゲスト紹介> \*一般財団法人中東協力センター 審議役 三東 尚志 様  
\*横須賀RAC 会長 竹岡 力 様  
\*横須賀RAC・前年度三浦学苑IA 会長 望月 彩弥愛 様

<会長報告> \*新会員入会 江口 浩通 会員 ・若松 滋俊 会員  
\*第3回理事役員会 報告

- ・年間プログラムについて
- ・10月からのテーブル席は第一四半期と同じテーブルとすることについて
- ・Look for Treasure at Peninsula 三浦半島再発見企画について
- ・70周年記念動画のためのコメント収録について協力依頼

\*横須賀RAC 竹岡会長・望月会員より挨拶

<委員長報告> \*社会奉仕委員会 兼城委員長より須長由紀横須賀応援団募金実績報告  
(139,000円)

<幹事報告> \*Look for Treasure at Peninsula について  
11月6日開催(締切10月2日)

\*週報受領(横須賀北RC・横須賀西RC・横須賀南西RCより)

\*会員事業所住所変更 鈴木 隆裕 会員 ・長坂 利広 会員

<出席報告> \*出席委員会 小林(-)委員長より9月18日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
118名	109名	81名(11名)	28名	4名	77.98%

<ニコニコ報告>

- ・横須賀ローターアクトクラブ会長 竹岡 力様、望月彩弥愛様  
本日はアクトから2名お邪魔させていただきます。今年度は新入会員も増え賑やかになってきました。引き続きご指導よろしくお願ひ致します。
- ・三 役 (一財)中東協力センター審議役 三東尚志様 ようこそお出でくださいました。  
本日の卓話楽しみにしています。
- ・瀬戸、福西、大竹、勝間、藤村、根岸、  
猿丸、齋藤(眞)、徳永、吉田、前田、齋藤(眞) 各会員  
一般財団法人中東協力センター審議役 三東尚志様ようこそお出でくださいました。  
卓話楽しみにしています。
- ・三 役 横須賀ローターアクトクラブ会長 竹岡 力様、望月彩弥愛様ようこそ横須賀RCへ。
- ・畑、小保内、梁井、角井、加藤(眞)、北村、田邊、小山(眞)、福西、江沢、  
加賀本、澤田、徳永、兼城、佐久間、波島、物井、八木、齋藤(眞) 各会員  
横須賀ローターアクトクラブ 会長竹岡 力様、望月彩弥愛様ようこそお出でくださいました。
- ・三 役 江口浩道会員、若松滋俊会員入会おめでとうございます。今後の御活躍を期待しております。
- ・八木、中村(眞)、上林、鹿島、中山、前川、飯塚、小沢、長尾、齋藤(眞) 各会員  
新会員江口浩道さん、若松滋俊さんご入会おめでとうございます。ロータリーライフをお楽しみください。
- ・江口 会員 本日歴史と伝統ある横須賀ロータリークラブに入会させていただきます。よろしくお願ひいたします。

- ・若松 会員 本日よりお世話になります。宜しく願い申し上げます。
- ・大石、木村、田村、若松、Loknath、後藤、川出、松本 各会員  
菅義偉さん、総理大臣就任おめでとうございます。秋田と神奈川の星！期待しています。
- ・田中、小平、上林 各会員 大坂なおみさん優勝ホントになっちゃった！おめでとう！アスリートのこれからの姿が見えたような気がします。
- ・小山 会員 全米オープンゴルフ開幕しました。松山・石川両名の活躍を期待しています。メジャーを勝ち取れ。

## <卓 話> 「日本にとって遠くて近いサウジアラビア王国」

— 今、激変の最中に —

一般財団法人 中東協力センター  
審議役 三東尚志様

皆さまこんにちは。ただ今ご紹介いただきました中東協力センターの三東でございます。まずはサウジアラビアの民族衣装をご紹介します。頭に被る大きな白い布は砂嵐の際にはマスクになり、強い紫外線から守ってくれ、また頭に載せたリングもウールで出来た頑丈なもので、ラクダが遠くに離れないように足に咬ませて動きを抑制する等、非常に機能的で優れており、彼らにとっては侍の刀のように誇りある民族衣装です。

今日は日本にとって心理的に遠い、地理的にも遠いけれども実は身近なサウジアラビアをご紹介します。本日のアジェンダとしては、サウジアラビアと日本の関係、サウジアラビアが直面している意



外な課題、彼らが進めている超長期計画「ビジョン2030」とそれに伴う急速な変革、そこにどう日本が絡んでいけるのかということについてご説明します。

まずは日本とサウジの関係です。サウジは1932年9月23日に建国された新しい国です。正式には「アル・マムラカ・ル・アラビーヤッ・スウディーヤ」と言ってサウド家によるアラビアの王国という意味です。国土は大きく日本の5.7倍、13の州があります。人口は3500万人弱あり、周辺国の中では非常に大きいですが、これが今日の説明の重要なポイントです。対日貿易は輸出が3兆7000億でほとんどが原油と石油です。輸入は4500億で機械類やレクサスやいすゞのトラック等です。今日のキーワードとして是非ご紹介したいのは「レンティア国家」という言葉です。それと「エネルギーの三重苦」に直面していること。レンティア国家の限界が来つつあることです。

サウジアラビアの凡その歴史としては、アラビアのロレンスが絡んでいたり、初代国王はイブン・サウードですが、実態としては二つの国が合体して出来た国です。黄海側の国をオスマントルコ帝国がエジプトと共に支援しており、砂漠(ベドウィン)の国が初代国王であるサウド家で、海で貿易をしていた人々と砂漠の中でやっていた人々だったので相容れないところもあり、東京と大阪と例えられることもあります。サウジアラビアと日本の結びつきの数字的な説明としては、日本が輸入している石油1000万キロリットルの95%が中東から来ており、その中の44%がサウジアラビアでこれは昨年比でも増えています。日本へはサウジアラビアと隣のアラブ首長国連邦(UAE)のアブダビから来ているのがほとんどで、即ち日本にとってはなく

てはならない国です。逆に中東の人たち（エジプト、ヨルダン、サウジアラビア、チュニジア、UAEの5カ国）にアンケートをとると、日本に対して8割前後の人が非常に好意的な回答を寄せています。

過去サウジアラビアは世界最大の産油国でしたが、今の最大産油国は米国です。シェールオイル・ガスも出ます。そしてサウジアラビアに肉薄しているのがロシアで、米国、サウジ、ロシアが三大産油国です。中東の主要国、特にアラビア湾側6カ国（サウジ、UAE、カタール、クウェート、オマーン、バーレーン）の人口を見ると、サウジが3500万、あとは1000万もなく、カタールに至っては160万で日本のどこかの市と同レベル、他の国もせいぜい県のレベルです。これがサウジの最大の悩みの源泉となっています。

サウジアラビアが直面する課題として、まずは半世紀で人口が6倍になった人口爆発があります。1970年にわずか570万だった人口は50年後の今年には3400万あまり、まさに6倍です。そして人口動態予測では2030年に4300万人になると予測されており、人口爆発は続いています。そういうことで世界最大級の産油国でありながらエネルギーの三重苦かつレンティア国家の財政的限界、それから70年間盟約を続けてきた米国との盟約の綻び、そして環境・静脈系への対応も課題となっています。人口爆発で国家的リスクが生じています。そしてエネルギー三重苦、レンティア国家としての福祉の限界です。原油輸出の最大シェアである日本に対しては年間4.2億バレル輸出し、国営アラムコを通して日本は原油代金を年間2.8兆円払っており、これのほとんどはホルムズ海峡を経由して来ています。こんな状況でサウジ自身がビジョンという長期計画を立てており、それに日本がいろいろな貢献をしています。私は中東協力センターへ2007年に入社しましたが、同時に当時の第一次安倍内閣で初めて安倍総理がリヤドへ来て国王と握手して始まった日本とサウジの産業協力活動の事務局を10年間やりました。今それが日サ共同ビジョンに継承されています。それから孫さんのソフトバンクビジョンファンド、こういう形で日本が協力しています。

湾岸の産油6カ国の中でサウジは頭抜けた大国のため、自身で使うエネルギー（電力と水）も多消費です。人口3400万を支えるための発電はほとんど重油あるいはガスに頼っており、水は作った電気を使って海水に圧力を掛けて過しているため、水も石油から作られているということになり、これが諸悪というか悩みの根源です。では三重苦とは何だ？ということですが、一つはこの人口爆発が続いているため、電力と水を作り続けるためのインフラ、発電所と海水淡水化（造水）プラントを作り続けなければならないことです。サウジの造水プラントは現在一日に500万m<sup>3</sup>の生産ですが、日本では最大の施設でも日量15万m<sup>3</sup>ですから大人と子供くらいのサイズ感の差があります。これをわずか数年で日量850万m<sup>3</sup>にしなければなりません。二つ目は作った電力と水、そして皆が使う自動車の燃料、それを国民にレンティア国家としての福祉の一環として逆ザヤで提供するための補助金です。たいへんなコストを掛けて作っている電力と水を安値で提供するための補助金が年間1200億ドル（12兆円）、現在の歳出規模は30数兆円ですが、その三分の一に匹敵する額です。三つ目の苦しみは石油の自国消費が急増していることです。つまり、人口が増えているので電力と水を作る、あるいは燃料に回す消費が増大しています。約1000万バレルを日に採掘していますが、その内の300万バレルを自分たちで食ってしまっています。世界一安いコストで出ている原油ですが、これを国際市場で売るから歳入の源になりますが、自分たちで使ったら一文の得にもなりません。これが非常に悩ましく、2038年には輸出量がゼロになるのではないかと、という冷徹な予測もあります。従ってインフラ増強、補助金の増大、自国消費の増加、この三重苦をどうやって解決するかが課題です。それに対し省エネ、公共料金の値上げ、再エネ、新エネを何とかするしかないとわかってはいます。ソリューションとしての石油、ガス資源の延命は、まずはサプライサイド即ち発電や造水、作る側の省エネを推進しなければなりません。そしてデマンドサイド、国民、役所、工業地帯や大規模な商業施設等官民の省エネも行わなければなりません。夏は50度になる砂漠気候なので、一般の国民も夏のバカンスで留守の間もエアコンを付けっぱなし、個人の電力消費も決して侮れないレベルです。そして日に5回のお祈りの度に口を濯ぎ、手足を洗うということで日本人の3倍くらい水を使うと言われています。従って汚れた水の再生や超節水農法、環境・静脈系やエコなどの技術を日本に求めています。

レンティア国家とは、国王が石油収入を一手に入手してそれを国民に分け与える、即ちレント（家賃）、フロー所得を分け与えるという用語です。そのような国は、レンティアステートといいます。お金は国王が国民に分け与えるので、日本だと公務員は税金を払う国民のために働きますが、サウジを含む周辺産油国の公務員はお金をくれる国王しか見ておらず、国民には非常に冷たい公務員ということです。レンティア国家は王様と国民の間の契約と言われており、国は福祉を保障する、だから国民は忠誠を誓いますが、この前提が崩れつつあり、これがレンティア国家の限界です。油価が低迷しており、今後自国消費もどんどん増えて

くる、そういう中でサウジは思い切って増税しましたが、これは諸刃の剣です。財政的に有効、あるいは省エネ意識を国民に植え付けることにはなりますが、国民としてはこれまで提供されていた福祉を削られた上に税金が上がるため、匙加減が難しく、綱渡りのやっているのがサウジアラビアの実情です。

また1945年、米国のルーズベルト大統領と初代国王が盟約を結びました。サウド家は米国にドルで石油を安定供給する、その見返りに米国はサウド家の安全を保障する、つまり軍隊や兵器を供給するというものです。これも米国にシェールが出たことで大前提が崩れつつあります。今やサウジの上得意は米国ではなく、インド、中国、日本、韓国です。このように互惠関係は変形しつつありますが、すでにオバマ政権時代から米国がサウジからフェードアウトする流れは続いています。しかしトランプはサウド家と個人的に仲が良く、娘婿であるクシュナーがユダヤ教徒のためイスラエルとの関係も良くなるという、非常にややこしい外交上、軍事上の新たな扉が開きつつあるところではあります。

このような中、ビジョンという超長期計画をどの国も導入しています。サウジはビジョン2030とMbS(ムハンマド・ビン・サルマン)です。ビジョン2030の本質というのは脱石油そして石油資源の延命で、同時に穏健なイスラム社会へ回帰しようということなのです。これは先ほどの国民への負担を如何に減らすかということで、それは急速に進めている女性解放や宗教的なタブーの緩和、文化的な解放です。バレンタインデーなどイスラムの習慣にない祭りや女性起業家、スタジアムで男女同席での観覧、ジャズコンサートなどが許可され、王女がボォグ紙の表紙に出たり、女性マラソン大会が開催され、ウーバーに女子大生の運転手が登場したり、サウジ版風雲たけし城、女子プロレス、AVE X社の花火と音楽のショー、アニメと漫画などの娯楽・文化も解放されています。このようなビジョン2030に日本として諸々の産業で協力しています。私が事務局をやった産業協力活動で多くの事業者が進出してくれましたが、神奈川でいうとアズビルや東邦チタニウムが出ています。それが製造業だけでなく、医療、輸送、教育、環境、自治体運営、廃棄物管理など間口が一気に広がっており、日本企業のビジネスチャンスとしての協力の場が広がっています。

時空を飛びっぱなしでしたが、「レンティア」と「三重苦」がわかっていただければ幸いです。ご静聴ありがとうございました。

#### 【追記】

岡田会長とは、息子同士が栄光学園の父親の会で長年ご一緒しており、これに重ねて私のリヤド駐在中に公私ともにお世話になった奥田大使（7月に卓話）が、岡田会長の中学生時分の家庭教師だったというご縁があり、帰国後にお引合せしました。横須賀・栄光学園・サウジアラビアを結ぶ、そのようなご縁で本日の貴重な機会を頂戴し、厚く御礼申し上げます。

<閉会・点鐘> 13:30 岡田会長

週報担当 中村清乃